

# ～ -2 歴史のしるべ・クローズアップ事業～ (ライトアップ)

## 事業の目的

このエリアの史実をクローズアップし、歴史街道としての観光価値を磨き高める。

## 対象施設、場所等

一の橋	不老門跡	頼山陽碑文
滝道のモミジ (3箇所程度)	水車	
野村泊月の句碑	仰箕橋	
	梅屋敷	

## 整備の課題と方針 (案)

点灯時間は、滝道における夜間の観光利用者数と事業効果のバランスの考慮。  
 ライトアップは土日や時間を限定して行う。  
 (大滝は、夏季イベント時にライトアップしている。)



滝道からの視認性が悪いもの (水車) 存在しないもの (不老門) のライトアップのあり方。

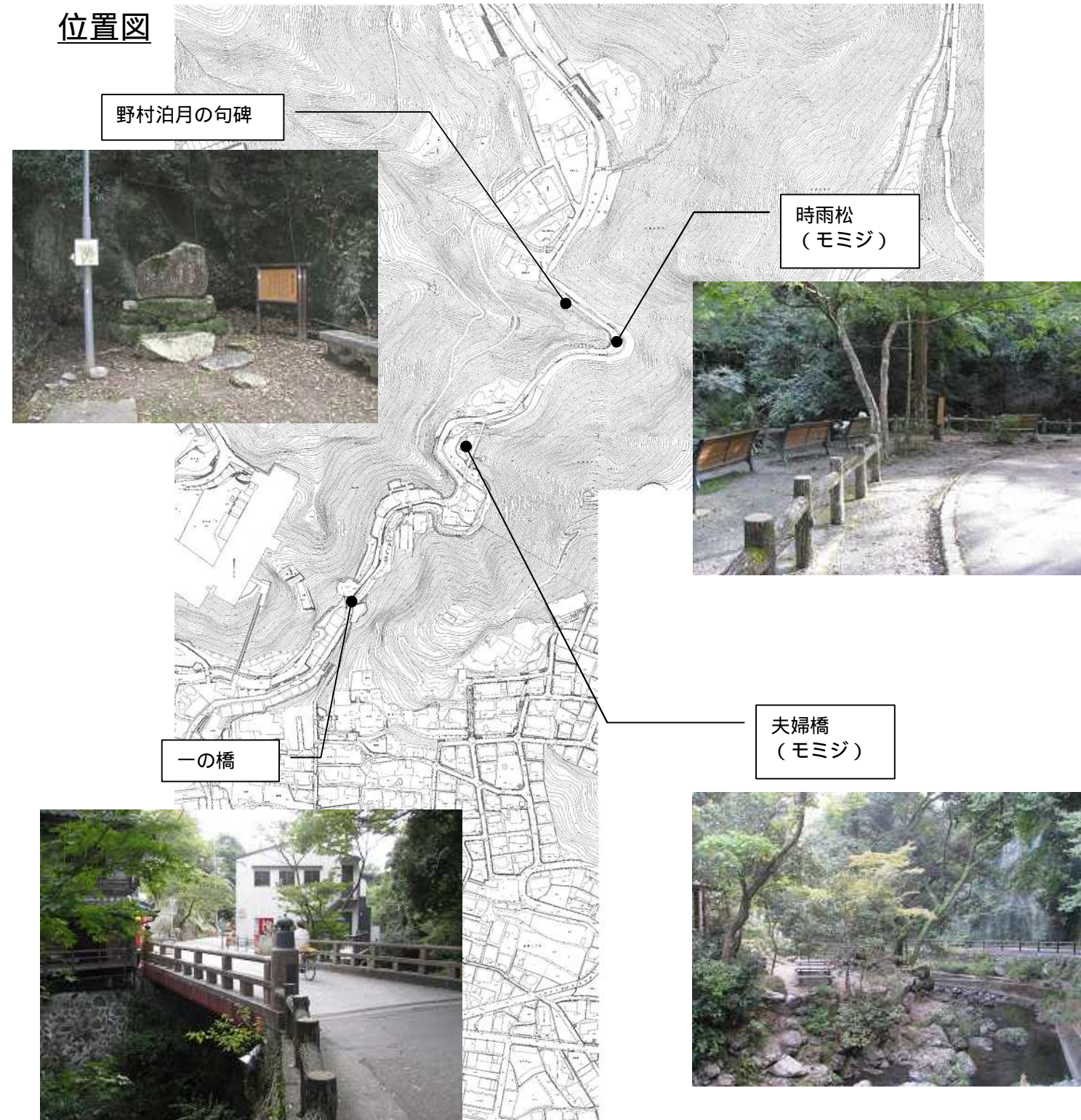
水車など視認性の悪いものは行わず、情緒や効果を高めるものを対象とする。  
 (滝道のモミジなど)



句碑、碑文、では電源の供給が満たされていない。  
 現状では句碑のライトアップは最寄りまで電源供給がなされており、経済性、事業時期において課題が少なく実行が容易である。  
 協議や承諾が必要なものは事業期間中には困難。(梅屋敷、瀧安寺など)

一の橋では、橋本亭を電源供給先とする河川のライトアップ装置が設置されている。  
 橋本亭のライトアップ装置 (河川) と相乗する一の橋のライトアップ

## 位置図





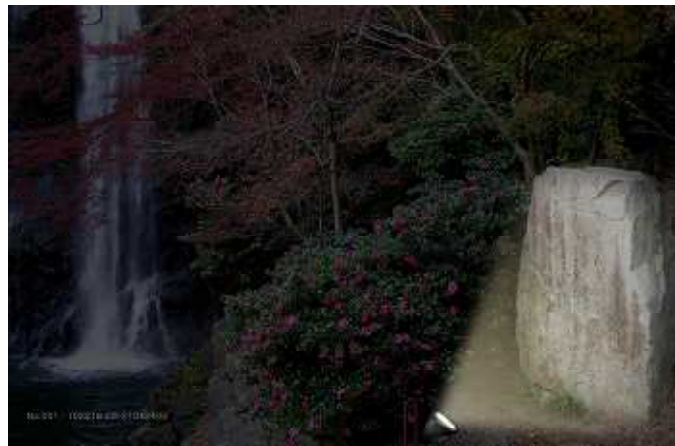
## 整備の事例



一の橋のライトアップイメージ  
事例の写真は、橋の両側（全長 24m）に設置した 36 本の蛍光灯により欄干を淡く浮かびあがらせる演出を行っている。  
（福島県耶麻郡磐梯町「薬師橋」）



モミジのライトアップイメージ  
モミジをライトアップした事例。滝道のモミジを照射し夜間の景観を演出する。  
（群馬県渋川市伊香保町）



碑文、句碑のライトアップイメージ  
地面から対象物を照射した事例。  
（箕面市音羽山荘）



## 整備のイメージ（案）

### 一の橋の案



欄干の下方に小さなLEDライン照明器具を設置し、欄干に幻想的な陰影をつける。



### 夫婦橋付近の案



夫婦橋や時雨松などLEDライトアップ照明にてモミジを照射し、観光情緒を高める。

